



# 校長だより 4号



呉市立両城小学校

児童数124名

〈学校教育目標〉 心豊かに 自立する

令和5年 5月12日(金)

文責 堀田 由美

## 1年生を迎える会 in マリンパーク



2日(月)、絶好の遠足日和の中、1年生を迎える会を行いました。本校の1年生を迎える会は毎年マリンパークに出かけ、縦割り班活動を行っています。めあては「1年生を迎える気持ちを大切に1年生が安心して行動する」ことです。

今年度は、全校遊びを取り入れ、広いマリンパークで思いっきりこおりおにをしました。また、お弁当を食べるときも、輪になり、隣の人と楽しく話しながら食べました。

6年生のリーダーシップが素晴らしく、どの班も気配り心配りができていて、1年生だけでなく他の学年も安心して行動することができました。6年生が下の学年に本当に優しく接するので、下の学年が心から慕っていました。またマリンパークへの行き帰りでも、6年生は1列や2列を指示してくれたので、帰校も大変スムーズでした。

引率した先生からも「こんな素晴らしい6年生は今までにない。」と絶賛でした。

4月から「最高学年として行動する」という意識が強くなり、6年生は頑張っています。今回の1年生を迎える会では、5年生や4年生にも下学年に優しい言動が見られました。本校の自慢であるこの縦割り活動は、大変有意義なものです。



# 5月5日 子どもまつり



5月5日の子供の日には、両城小学校で4年ぶりに「子どもまつり」が行われました。私も初めて参加しました。風船割りや綱引き、キャプリア競争等、未就学児から6年生まで大変楽しむことができました。開会式のラジオ体操では、6年生が見本として体操を行いました。6年生がたくさん参加してくれたと第9区社会福祉協議会の方たちも喜んでいました。「子供たちが健やかに育ちますように」と願いをこめて行われた「子どもまつり」、実施できて本当によかったです。地域の皆様、子供たちのために本当にありがとうございました。

## 檜垣 康江さんによる「お話の会」

昨年度まで給食時間に放送で「古典のお話」等を子供たちにしてくださっているのは、檜垣 康江さんです。コロナが5類相当になり、今年度からはコロナ前に戻し、対面でお話をしてくださいます。

第1回目は1年生です。放送では分かりませんでしたでしたが、檜垣さんは、本等を見ながらお話を読むのではなく、子供たちの顔を見ながらお話をしてくださっています。直接子供たちの表情が分かる対面はやはり良いものです。



今年も2年生が1年生に学校を案内する「学校たんけん」を行いました。今まではコロナで密にならないように離れて案内をしていましたが、今年は1年と2年が1人ずつペアになって手を繋いで案内しました。2年生の方は欠席もあったので、急遽1人が1年生2人を案内しました。2年生は、1年生のお兄さんお姉さんとして立派に役割を果たしました。



## 1・2年生学校たんけん

4年1組の担任の先生は榮谷 知美先生です。

## 先生紹介

榮谷先生は、廿日市市立阿品台東小学校から本校に転勤されました。3月末まで育児休暇をとられており、久しぶりの現場復帰ですが、やる気いっぱい子供たちのために真摯に取り組んでいます。榮谷先生は、子供たちが優しくて礼儀正しいと褒めており、私もとても嬉しいです。先日、国語の授業を参観しました。音読を中心に組み込んで子供たちがはきはきした声で音読をしていました。漢字指導も筆順の空がきを取り入れており、1人1人をよく見て丁寧に指導しています。

